



水道基礎講座（東京会場第1回：5月11日～13日、東京会場第2回：5月18日～20日、  
大阪会場第1回：5月25日～27日、大阪会場第2回：6月1日～3日）

水道業務に従事する新任事務・技術担当者の方々371名（東京会場第1回103名、東京会場第2回106名、大阪会場第1回80名、大阪会場第2回82名）の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第1回：5月17日～20日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々16名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第945回会誌編集委員会（5月25日）

本誌7月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

全国水道企業団協議会第60回総会（5月26日～27日）

全国水道企業団協議会第60回総会（開催地事務局：北海道地区協議会／石狩東部広域水道企業団）が、千歳市の「ホテルグランテラス千歳」において開催された。

1日目：開会式では、開催地代表として石狩東部広域水道企業団の原田企業長（恵庭市長）、全国水道企業団協議会会長である八戸圏域水道企業団の小林企業長（八戸市長）、開催地の山口千歳市長から挨拶があった後、厚生労働大臣、総務大臣、北海道知事、日本水道協会理事長、日本水道工業団体連合会専務理事より祝辞があった。

続いて表彰式では、全国水道企業団協議会会長表彰として、3名が表彰された。

会議では「会務報告」の承認を得たのち、「役員改選」について審議し、総会休憩時間中に役員選考委員会を開催することと決定した。



続いて「平成27年度歳入歳出決算」、「平成28年度歳入歳出予算（案）」の各議案が上程され、原案のとおり決定した。

次に、休憩時間中に行われた役員選考について、役員選考委員会委員長である桂沢水道企業団の松野企業長（岩見沢市長）より報告があり、新役員を決定した。新役員は、会長である八戸圏域水道企業団の小林企業長を含む全役員が再任された。

その後、会員提出問題討議に入り、問題1「浄水場の仮置き浄水発生土の早期処分について」、問題2「水道事業における電力確保対策等について」、問題3「水道事業に対する財政支援の拡充及び要件等の緩和について」、問題4「生活基盤施設耐震化等交付金制度（水道事業運営基盤強化推進事業）の充実について」、問題5「水道事業の新たな広域化のための財政支援等について」、問題6「交付金の一部事務組合への直接交付について」、問題7「公的資金補償金免除繰上償還制度及び公営企業借換債制度の復活について」、問題8「水道施設の災害対策事業等に対する財政支援等について」、問題9「水利権制度の柔軟な運用について」、問題10「水源地域における関係機関の連携及び財源措置について」、問題11「水道水に対する軽減税率の適用について」が一括上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した。

次に、厚生労働省医薬・生活衛生局の松田水道課水道計画指導室長、総務省自治財政局の石黒公営企業経営室長よりそれぞれ最近の水道行政の動向に関する説明があった。

最後に、次期総会について、東北地区協議会の岩手中部水道企業団を事務局として開催することと決定した。

2日目：石狩東部広域水道企業団・千歳川浄水場等を視察した。



#### 第109回水道 GLP 認定委員会（5月30日）

水道 GLP 認定について、認定維持検査機関として、（一社）青森県薬剤師会（認定番号：JWWA-GLP008）、（株）東海分析化学研究所（認定番号：JWWA-GLP010）、（一財）山形県理化学分析センター（認定番号：JWWA-GLP108）、（一財）静岡県生活科学検査センター（認定番号：JWWA-GLP110）が、それぞれ審議され決定された。

#### 第171回水道統計編纂専門委員会（6月1日）

はじめに、議題1「正副委員長の互選について」を上程し、委員長に鈴木愛知県企業庁愛知用水水道事務所長、副委員長に小林横浜市水道局経営部経理課会計係長がそれぞれ選任された。

続いて、議題2「水道統計の経年分析（平成26年度）について」、議題3「平成27年度水道統計調査について」、議題4「水道統計施設・業務編検索システムの集計機能について」、それぞれ事務局より作成内容、現在の状況の説明を行い、審議の結果、了承された。

#### 水道事業事務研修会（労務部門）（6月1日～3日）

水道事業に従事する中堅事務担当者の方々33名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「最近の労働判例」、「地方公務員法と公務員の責務」、「管理・監督者のあり方」、「地方公営企業の労使関係」、「地方公営企業職員の労務管理」、「人事制度と再任用」について、主に労務の実務を中心とした研修を実施した。

#### 平成28年第1回理事会（6月2日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「日水協ビジョン（案）」について事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成27年度日本水道協会会計決算」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



#### 平成28年度第1回運営会議（6月2日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「熊本地震における日本水道協会の対応」、報告事項2「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項3「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討経過」、報告事項4「平成28年度水道イノベーション賞」、報告事項5「第58回水道週間」、報告事項6「第10回IWA（国際水協会）世界会議・展示会並びに技術視察参加ツアー」について、それぞれ事務局から報告があった。



続いて第1号議案「平成29年度水道関係予算等の要望」が事務局より上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、出席委員全員により主要国会議員及び厚生労働省、総務省に対し陳情を行った。



自由民主党水道事業促進議員連盟幹事長  
盛山正仁 衆議院議員への陳情

### 第150回水道事業管理者協議会（6月3日）

はじめに、報告事項として、事務局より「水道事業ガイドラインの改正について」報告を行った後、取組事例（小発表）として、盛岡市上下水道局より「盛岡広域水道圏研究会の取組について」、大津市企業局より「大津市水道事業の経営改革について（水道改革プロジェクトの取組）」発表があった。次に、メンバー都市及び事務局から提案された情報交換事項「①用途廃止した水道施設（浄水場、配水池等）の跡地の活用方法について」、「②水道施設等の耐震化について」、「③再生可能エネルギーの活用例について」の3題について情報交換を行った。



### 漏水防止講座（東京会場第1回：6月8日～10日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々59名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。